

令和7年4月7日

保護者のみなさんへ

中学校育一貫教育校園

玉野市立荘内中学校

校長 住田 義広

令和7年度からの市内中学校の改革について（再配布）

日頃より、本校の学校教育推進にご支援いただき感謝申し上げます。

玉野市では、本校及び八浜中学校以外の中学校における令和7年度末までの適正規模化が計画されており、新たな中学校教育の具現化に向けて動き始めております。昨年度末、市教育委員会より、新中学校の目指すべき方向性が示されましたが、おおむね本校の進める教育方針に類似することが多いようです。

昨年度末に、市教育委員会の方針のもと、市内全中学校において、大きく変わる点について概要をお伝えいたしましたが、若干変更がありますので、再度お伝えします。

記

- 1 市内中学校においては、年間をとおして、週2日（月・水）、5時間授業の日を設定する。
 - ・月曜は放課後に行事や生徒会専門委員会を実施する。そうした取組がない日は部活動を行ってもよい。水曜日は職員会議や研修のため、部活動を実施しない。
 - ・これまで規定以上の余剰授業時数で行ってきた学校運営を見直し、極力余剰授業時数を削減するという国の方針を尊重するため。
- 2 市内中学校においては、部活動実施時間も含めて、16：50を最終下校時刻とする。
 - ・大会前の活動時間延長も行わず、すべての市内中学生は16：50には下校する。
 - ※荘内中学校では、現在もこの最終下校時刻で行っています。（荘内中では月曜日は16：00、水曜日は15：00を最終下校とします。）
- 3 その他の市教育委員会からの方針
 - （1）個別最適な学び・協働的な学びの実現の中でICTを徹底活用（本校はある程度達成）
 - （2）自立応援室の設置（本校では「ほっとルーム」設置）
 - （3）キャリア探求学習の充実（本校ではENAGEED等のキャリア探求学習を実施）
 - （4）教育DXを推進（本校では実施中）

4 本校の学校教育改革の方針

令和3年度から市教育委員会の「未来の学校づくり推進モデル校」指定を受け、生徒を主語にした未来の学校づくり、GIGAスクール構想から教育DXを進める国のタイムテーブルに沿って、学校ICT化による生徒の新しい学びと教職員の新しい働き方を具現化するよう、改革を進めてきました。現在、当時の想定以上に社会構造は変わり続け、就職試験や大学入試、高校入試も変化しています。全国的に学校改革はさらに進み、これまでとまったく違う社会で生きる子どもたちのための教育活動が構築されてくるはずです。今後も、荘内中出身の生徒が未来の社会で幸せに生きていけるよう、学校教育内容の充実に努めてまいります。